

触媒学会会長候補者「経歴と会長としての抱負」

1) 候補者指名

田中庸裕（たなかつねひろ）

2) 生年月日

1958年10月3日

3) 略歴

1982年 京都大学工学部石油化学科 卒業

1987年 京都大学大学院工学研究科石油化学専攻 博士後期課程修了

1987年 北海道大学理学部化学科・助手

1990年 京都大学工学部石油化学科・助手

1993年 京都大学大学院工学研究科分子工学専攻・助手

1997年 京都大学大学院工学研究科分子工学専攻・助教授

2004年 京都大学大学院工学研究科分子工学専攻・教授（現職）

2012年～ 京都大学触媒・電池元素戦略研究拠点ユニット ユニット長兼任



4) 所属・職位

京都大学大学院工学研究科・教授

5) 専門分野

触媒化学、固体物理化学、環境触媒

6) 受賞歴

1994年 触媒学会 奨励賞

2017年 触媒学会 学会賞（学術部門）

7) 会長としての抱負

現在、多分野、多方面において「触媒」という言葉が浸透しています。古くから言われ続けていることですが、境界領域や他分野のサイエンスや人材を取り込んで、触媒の科学ならびに関連技術をますます発展させ、世界に発信していくことが本学会の責務であります。そのためには、会員相互の情報交換はもちろんのこと、産学連携や、他分野、一般との交流事業、次世代人材の養成を促進することは重要事項であり、その仕組みを先達の方々が努力し整備をされてきました。これらを引き継ぎブラッシュアップしていくことが務めであると考えております。中でも、根幹をなすものは、触媒の学理の追究と継承であり、そのためには、討論会、会誌編集、研究会、関連国際会議への若手の積極的な参加を促し、活動をより一層充実させる必要があります。2020年はICCの年でもあり、触媒学会が飛躍できる年になるよう全力を傾けて努力いたします。